

2 将来の景観像

本市は、青い海と豊かな山々に囲まれた地形による豊富な自然景観に特徴があり、鉄道唱歌東海道編においても、「東海道にてすぐれたる 海のながめは蒲郡」と唄われた景勝地です。

本市の将来の景観像は下記のとおりとし、この鉄道唱歌に唄われた良好な海辺の景勝地（観光地）の景観を継承しつつ、住む人によって形成されてきた自然と調和した穏やかな景観をこれからも守り、育てていくことで、訪れる人が癒され、住む人が誇れる景観を目指します。

東海道にてすぐれたる 海のながめは蒲郡
訪れる人が癒され 住む人が誇れるまち



● TOPICS ●

● 蒲郡市民憲章（昭和47年11月3日制定）

- 1 「はい」「ありがとう」「すみません」愛のことばで人づくり
- 2 心と体をすこやかに、笑顔で働きいえづくり
- 3 海と空を美しく、みんなの力でまちづくり

蒲郡市民憲章は、3つの誓いを定めています。市民憲章3つの誓いは、小学生から大人まで多くの蒲郡市民が言うことができます。3つの誓いの3番目には「海と空を美しく、みんなの力でまちづくり」とあり、今までそしてこれからの景観まちづくりに通ずる言葉です。

3 景観形成の基本方針

(景観法第8条第3項関連)

本市の地形は、三河湾に寄り添うように市街地が広がり、それを取り囲むように山なみを形成しているという特徴を有しており、市全域において「海・市街地・山」が一带となった景観で構成されています。

この景観特性を踏まえ、将来の景観像「**東海道にすぐれたる 海のながめは 蒲郡 訪れる人が癒され 住む人が誇れるまち**」を目指し、本市の景観形成の基本方針を以下のように設定します。



【方針1】 豊かな **自然環境と調和** した景観づくり

- 北部に広がる山なみや、雄大な三河湾に代表される本市の自然環境は、豊かで恵まれた地域資源です。そのため、この豊かな自然環境を保全するとともに、自然環境と調和した景観づくりを進めます。

【方針2】 **地域に息づく景観を継承** する景観づくり

- 本市の豊かな自然の中で、日々の暮らしとともに築かれてきた景観には貴重な地域の特性が表れています。沿岸部や山間部に広がる暮らしや生業とともに形成された、これらの景観を守り、将来へ継承していく景観づくりを進めます。

【方針3】 豊富な景観資源・地形を活用した **魅力を引き出す** 景観づくり

- 本市の特性に応じ、地域の景観資源を活かした個性あふれる景観づくりを進めます。特に、まちなかの公共空間や身近な居住空間などについては、景観資源や地形を活用することで、潤いやゆとりを生み出し、市民が愛着を持てる景観づくりを進めます。

【方針4】 人々の景観づくりの **心を育てる** 取り組み

- 景観は長い年月を経て形成されるものであり、行政が主体となる取り組みだけでなく、地域で暮らす市民の協力や地道な取り組みが不可欠です。そこで、市民の身近な景観への関心を高める取り組みを進めます。また、市民・企業・行政の協働による景観づくりの体制を構築します。

4 ゾーン別景観形成の方針

(景観法第8条第3項関連)

本市の景観特性を踏まえ、市域について6つのゾーンと1つの軸を設定しました。

特に、海岸線については、本市の重要な視点場かつ視る対象となり、本市特有の景観を形成することから、「沿岸部の景観軸」として設定しました。

軸と6つのゾーンについて、それぞれの特性に合わせた景観形成の方針を定め、今後の景観形成の推進の指針とします。

区分	ゾーン名称	位置	
軸	○沿岸部の景観軸	・「海のながめは蒲郡」の顔となる様々な景観要素を備えた海岸軸	
ゾーン	山間部 1	①北部の山なみ景観ゾーン	・本市の北部のみかん畑とその背景に広がる広大な山々に囲まれた国道 247 号以北の市街化調整区域を中心としたゾーン
	市街地 1	②山と海に囲まれた市街地景観ゾーン	・本市中心部の蒲郡駅周辺をはじめ、竹谷町から大塚町までの市街化区域と温泉地、竹島などの観光地を含むゾーン
	山間部 2	③半島の山なみ景観ゾーン	・本市の西部に位置する三ヶ根山の麓に広がる緑豊かな自然と住宅地が共存する市街化調整区域を中心としたゾーン
	市街地 2	④半島のまちなみ景観ゾーン	・本市の西部に位置する半島沿いに形成された拾石町から西浦町までの市街化区域を中心とした市街地から成るゾーン
	市街地 3	⑤海辺の工業景観ゾーン	・本市の工業の中心となる、浜町周辺の工業専用地域及び工業地域から成るゾーン
	市街地 4	⑥海辺の新市街地景観ゾーン	・商業・レジャー・マリンスポーツなど、市の新たな顔となる海陽町地内のゾーン

【軸・ゾーンの設定図】



(1) 軸の方針

- 本市の沿岸部は、市域全体に跨る連続性があり、市街地からの背景となるほか、海側から眺める場所（視点場）が多くあることから、沿岸部に位置する様々な景観資源を活用し、一体的に景観の形成を推進する必要があります。
- そのため、ゾーンを跨ぐ沿岸部を「沿岸部の景観軸」として定め、特別に景観形成の方針を設定します。

○沿岸部の景観軸

【位置】

- 「海のながめは蒲郡」の顔となる様々な景観要素を備えた海岸軸

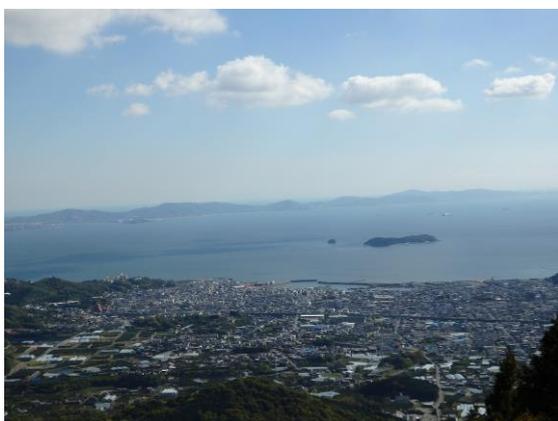


【特徴】

- 昔から漁業などの生業の場として機能するなど、海を身近に感じられる地域です。
- 三河湾国定公園区域内にある竹島や三河大島、三谷温泉郷や西浦温泉郷など、多くの観光施設が沿岸部に集積しています。
- ヨットなどのマリンスポーツが盛んであり、三河大島までの夏季の渡船やクルーズ船の停泊など、海側から市街地を眺めることができます。

【景観形成の方針】

- 本市特有の竹島や三河大島、クルーズ船等を視点場とした海側からの景観の保全に努めます。
- 海岸線の市域各所から漁港やマリナー等の景観保全・形成に努めます。
- 本市の景観資源となる沿岸部の観光地（三谷温泉郷、ラグーナ蒲郡等）は、自然と調和した魅力的な景観の形成・創出を図ります。



海岸線



①形原町の漁港とまちなみ

●漁港に調和したまちなみ景観が形成されています。



②竹島橋から東側
(三谷温泉方面)を望む

●海側から市街地を望む景観は、市街地の背景に山なみが広がる本市の重要な景観の1つです。



③大塚海岸

●沿岸部には海・市街地・山なみを一体的に眺める視点場が多くあります。



④西浦シーサイドロード

●市全域に続く海岸部の道路は、海岸線と並行して開放的な海の景観を形成します。



観光地



⑤西浦温泉



⑥竹島



⑦ラグーナ蒲郡

●沿岸部は、多くの観光資源やレジャー施設等があり、市民だけでなく観光客にも親しまれている本市特有の景観を形成しています。

(2) ゾーンの方針

① 北部の山なみ景観ゾーン

【位置】

- 本市の北部のみかん畑とその背景に広がる広大な山々に囲まれた国道 247 号以北の市街化調整区域を中心としたゾーン



【特性】

- 市街地を囲むように遠望峰山、五井山、御堂山などの山々が連なり、本市のスカイラインを形成し、海側から見た市街地の背景となっています。
- 山間部は三河湾国定公園の区域に指定されており、一定の自然環境が保全されています。
- みかん畑が多くの場所で見られ、特色ある農地景観を形成しています。
- 山あいに複数の集落があり、緑と調和した落ち着いた景観を形成しています。
- とよおか湖公園やさがらの森など、豊かな自然と触れ合うことができる施設があります。
- 市街地と三河湾を眺望できる視点場があります。
- 国道 23 号蒲郡バイパスなどの幹線道路が整備されています。
- 社寺や天然記念物、史跡等が多く点在しています。

【景観形成の方針】

- 三河湾国定公園に指定される区域の自然環境の保全に努め、みかん畑と調和した景観の保全・形成に努めます。
- 落ち着いた集落地景観の保全・形成に努めます。
- 市街地や三河湾を望む視点場からの優れた眺望景観の保全・形成に努めます。
- 自然環境を損なわないように、屋外広告物の適正化などに努めます。
- 地域のシンボルとなる社寺や樹木は、周辺環境との調和に配慮した景観の保全・形成に努めます。



②山と海に囲まれた市街地景観ゾーン

【位置】

- 本市中心部の蒲郡駅周辺をはじめ、竹谷町から大塚町までの市街化区域と温泉地、竹島などの観光地を含むゾーン



【特徴】

- 市民生活や企業活動が営まれる市街地は、比較的コンパクトにまとまっています。
- 沿岸部には、景勝地である竹島周辺や三谷温泉郷など、蒲郡市を代表する観光地が位置しています。また、一部が三河湾国定公園の区域に指定されており、一定の自然環境が保全されています。
- 沿岸部は、「蒲郡まつり」や「三谷祭」など、本市を代表する祭り・イベントの舞台となっています。
- 土地区画整理事業による市街地整備が行われた区域では、都市公園が整備されています。

【景観形成の方針】

- まとまりのある市街地景観を形成するため、大規模施設等の外観や屋外広告物などの周辺環境との調和を図ります。
- 三河湾国定公園の区域に指定されている竹島周辺や三谷温泉郷などの観光地は、自然環境の保全に努めるとともに、市を代表する観光地として良好な景観形成に努め、さらなる賑わいの創出を図ります。
- 道路・公園などの公共施設については、環境美化・向上に努め、住みやすい豊かな居住空間の形成を図ります。
- 都市機能が集約したまちなかの幹線道路沿線や駅周辺、商店街等において魅力的な景観形成を推進します。



③半島の山なみ景観ゾーン

【位置】

- 本市の西部に位置する三ヶ根山の麓に広がる緑豊かな自然と住宅地が共存する市街化調整区域を中心としたゾーン



【特徴】

- 三ヶ根山の麓を中心に三河湾国立公園に指定されており、一定の自然環境が保全されています。
- 「あじさいの里」で有名な形原温泉が位置し、古くから山あいの温泉郷として親しまれています。
- 周辺の緑と調和した拾石川付近ののどかな自然景観は、「美しい愛知づくり景観資源 600 選」にも選ばれています。
- 山あいに住宅地が広がり、緑豊かな居住環境を形成しています。

【景観形成の方針】

- 三河湾国立公園に指定される区域の自然環境の保全に努めます。
- あじさい園地など、特色ある景観資源の保全・活用に努め、形原温泉郷の趣に配慮した景観形成に努めます。
- 拾石川付近の季節感のあるのどかな河川景観の保全・形成に努めます。
- 住宅地においては、豊かな自然と調和した景観形成に努めます。
- 自然景観を損なわないよう、屋外広告物の適正化などに努めます。



④ 半島のまちなみ景観ゾーン

【位置】

- 本市の西部に位置する半島沿いに形成された拾石町から西浦町までの市街化区域を中心とした市街地から成るゾーン



【特徴】

- 沿岸部の漁港や船溜りと一体となった、地域に根づいた市街地景観が形成されています。
- 西浦温泉郷周辺は、三河湾国定公園に指定されており、豊かな緑の景観が保全されています。
- 鹿島大橋や形原漁港大橋などの橋梁が、地域のランドマークとなっています。
- 西浦温泉郷へと続く「西浦シーサイドロード」では三河湾を望む開放的な沿道景観が見られます。
- 春日浦地区は地区計画により低層住宅を中心とした市街地誘導が行われており、海岸に面してゆとりある住宅地景観が形成されています。

【景観形成の方針】

- 地域の生業である漁業により支えられてきた地域特有のまちなみ景観を保全します。
- 三河湾国定公園の区域に指定されている西浦温泉郷は、自然環境の保全に努めるとともに、半島の先端部に位置する特徴的な温泉郷の魅力向上を図ります。
- 「西浦シーサイドロード」など海岸沿いの道路は、環境美化や景観資源の保全に努め、開放的な沿道景観の形成を図ります。
- ゆとりある豊かな生活の維持のため、住宅地の景観を保全します。



⑤ 海辺の工業景観ゾーン

【位置】

- 本市の工業の中心となる、浜町周辺の工業専用地域及び工業地域から成るゾーン



【特徴】

- 埋立てによって整備された工業用地であり、ゾーン内には港湾施設と大規模から中規模の工業施設が立地しています。
- 大型船舶の停泊場など、海辺の特色ある景観要素となっています。
- 工業用地に必要な幅員が広い道路には街路樹が整備されており、ゾーン内には公園やスポーツ施設などの緑が確保されています。

【景観形成の方針】

- 企業との協働により周辺の海辺と調和した景観への取り組みを推進します。
- 敷地内緑化などにより、ゆとりある空間を確保し、圧迫感を与えない工業地景観の形成を目指します。
- やすらぎの場所として緑に囲まれた季節感のある景観を確保するため、公園や緑地の維持管理に努めます。



⑥ 海辺の新市街地景観ゾーン

【位置】

- 商業・レジャー・マリンスポーツなど、市の新たな顔となる海陽町地内のゾーン



【特徴】

- 島状の埋立地であり、「あそび」「暮らし」「にぎわい」の創出を目指し、地区計画により土地利用と建築物等の誘導が図られています。
- ゾーン西側には、レジャー関連施設が立地し、本市の主要な観光地の1つとなっています。また、ゾーン東側については、今後多様な土地利用が図られ、にぎわいを創出するまちづくりが期待されます。
- ゾーン中央部には、マリーナが位置しており、ボードウォークが整備され、海辺の景観を一望することができます。

【景観形成の方針】

- ゾーン全体の一体感を意識し、まとまりのあるまちなみ景観の形成を図ります。
- 海辺の景観に配慮するとともに、ゆとりある道路空間や緑を確保することで、落ち着いたあふる都市空間の整備を図ります。
- 商業地や観光地を含み、多くの来訪者が訪れるゾーンとして、にぎわいの創出に努めます。

